

津波防災講演会の開催結果について

標記のことにつきまして、11月5日の「津波防災の日」、「世界津波の日」に関する取組の一環として、防災に係る理解・関心の向上と主体的な避難行動の定着を図るため、下記のとおり、東日本大震災時の体験談を語り継ぐとともに、安政南海地震津波の出来事をもとにした「稲むらの火」等を朗読する「津波防災講演会」を開催いたしました。

記

1 主催

茨城県、ひたちなか市、水戸地方気象台

2 日時

令和6年11月14日（木）13時30分から16時まで

3 参加者数

100名

4 場所

那珂湊総合福祉センター（しあわせプラザ）ふれあい交流館
（茨城県ひたちなか市南神敷台17-6）

5 内容

第一部 講演「気象庁が発表する地震・津波関連の情報」

水戸地方気象台 防災管理官 船山 亘 氏

- ・水戸地方気象台から、東日本大震災時に発表した津波警報・津波情報や南海トラフ地震に関する情報など、気象庁が発表する地震・津波関連の情報について講演いただいた。

第二部 震災体験発表

阿字ヶ浦クラブ 支配人 黒澤 広忠 氏

大洗町消防団指導員・大洗町議会 議長 飯田 英樹 氏

- ・両氏から、津波や避難時の状況などの当時の様子や震災から得た教訓等についてお話しいただいた。

第三部 「つなみについて*1」「稲むらの火*2」の朗読

フリーアナウンサー 高信 佳子 氏

*1 震災当時、岩手県の大槌小学校の5年生が書いた作文。

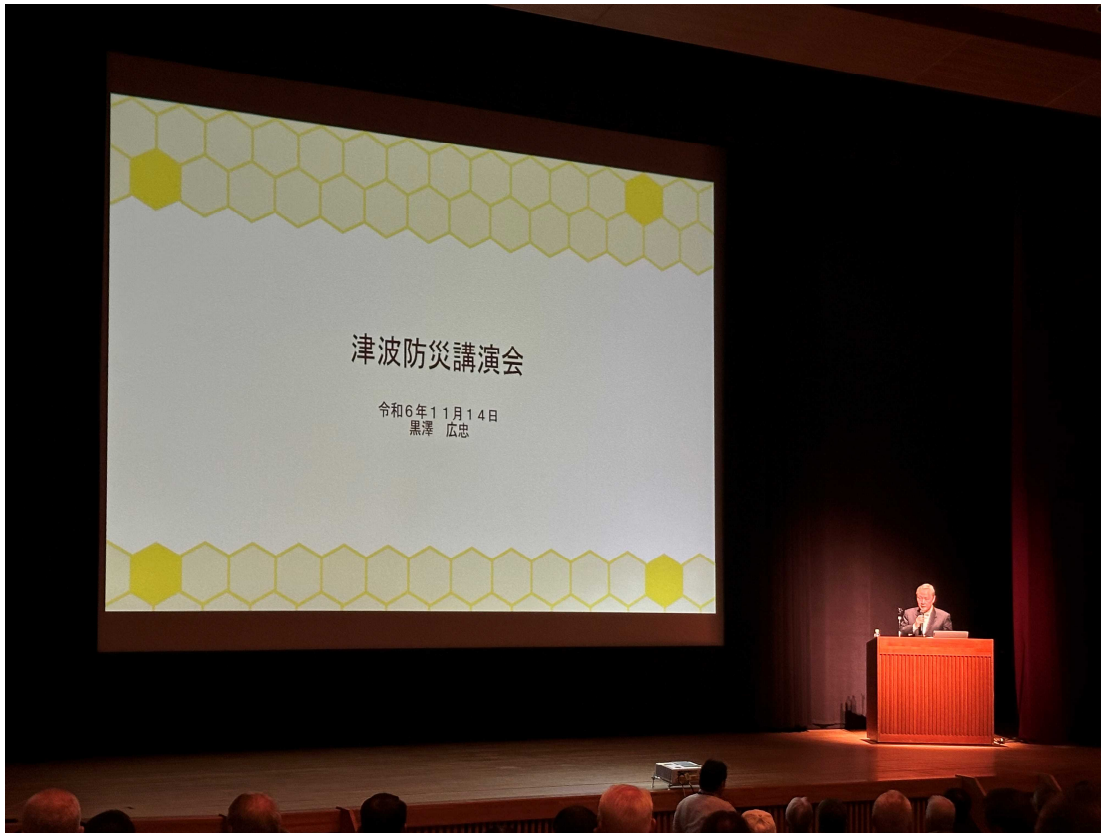
*2 1854年の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、収穫した稲の束（稲むら）に火をつけ、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救ったという逸話。

6 その他

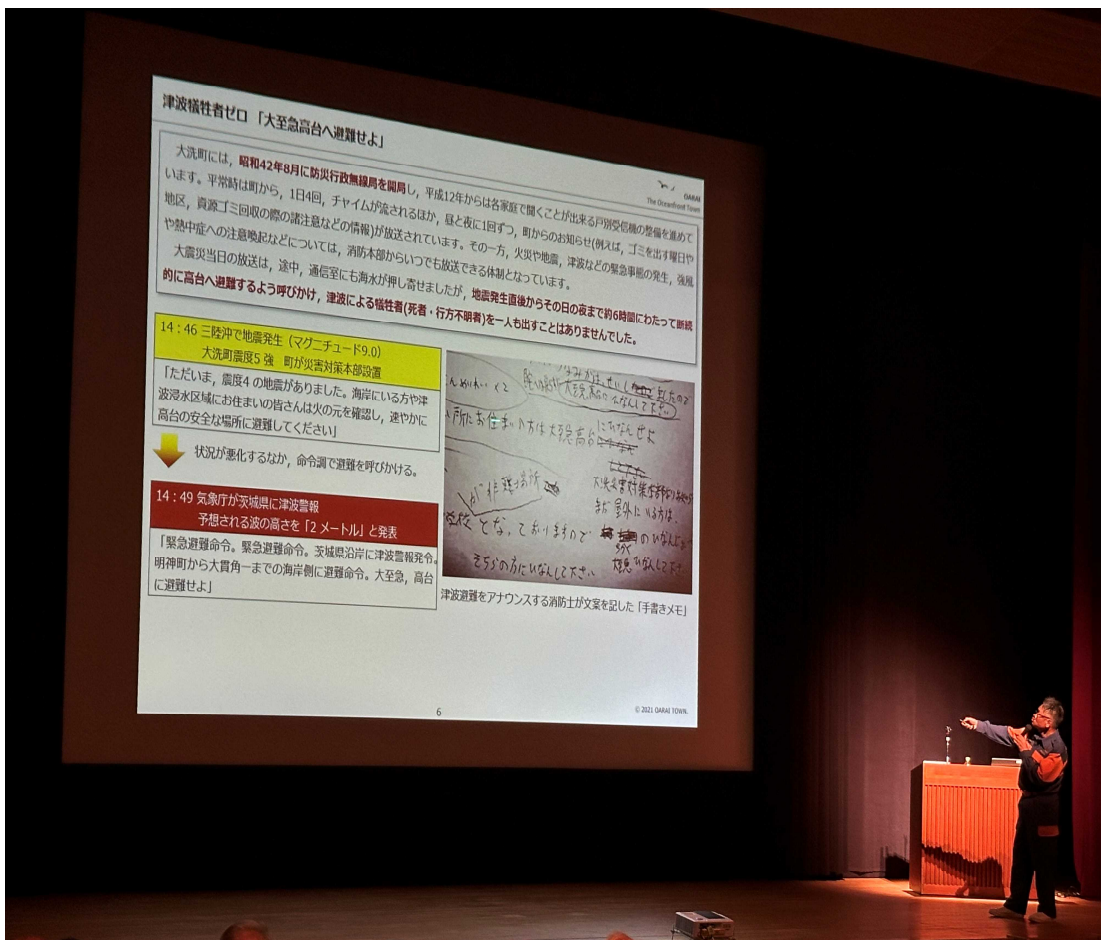
- ・会場内で東日本大震災の記録展示を行いました。

7 当日の様子（写真）

〈黒澤氏：震災体験発表の様子①〉



〈飯田氏：震災体験発表の様子②〉



〈高信氏：「つなみについて」「稲むらの火」の朗読の様子〉



〈東日本大震災の記録展示の様子〉

